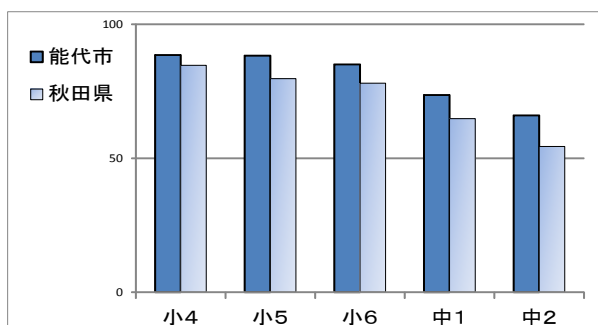


# Ⅲ 質問紙調査結果

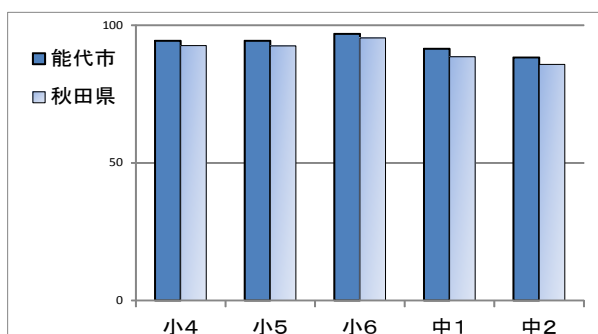
## 1 勉強が好きだ



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。特に、中2では、県平均を10ポイント以上、上回っています。日頃から先生方が、児童生徒の興味・関心を高める授業づくりに取り組んでいることが分かります。今後も秋田の探究型授業の取組をお願いします。

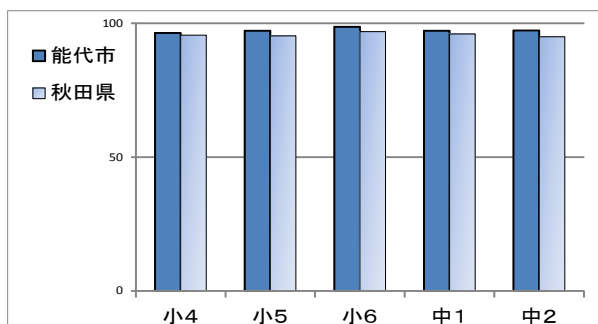
## 2 学校の勉強がよくわかる



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。昨年同様、各校の授業改善に対する取組が確実に成果を上げていることが分かります。特に、小4から中1までは90%以上の児童生徒が「学校の勉強がよくわかる」と答えています。今後も児童生徒の実態を考慮した指導をお願いします。

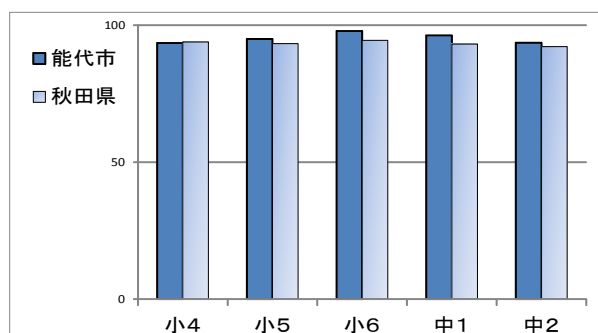
## 3 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。また、どの学年も95%以上の高い数値になっています。今後も教育活動全体を通して、ふるさと教育・キャリア教育を推進しながら、日常生活や社会との関連性を意識した学習活動の計画・実施をお願いします。

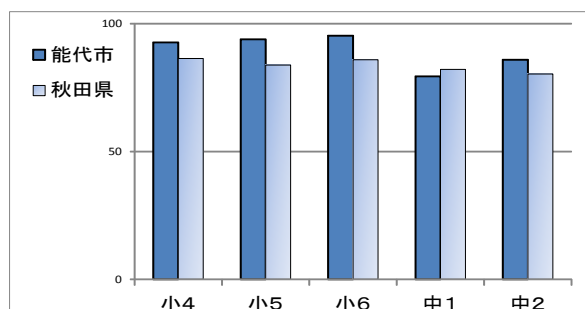
## 4 学校が楽しい



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

小4が若干、県平均を下回りましたが、全ての学年の90%以上の児童生徒が、学校を楽しんでいると感じています。今後も一人一人のよさや可能性を伸ばしながら、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせることができるようをお願いします。

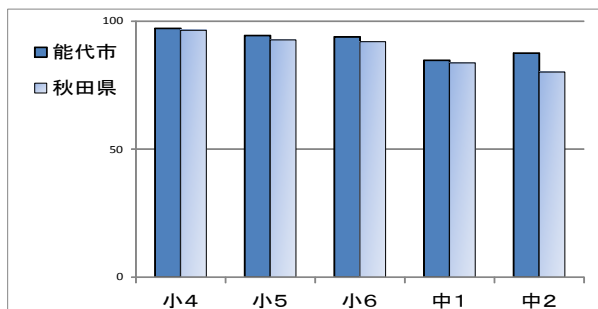
## 5 自分にはよいところがあると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

小5と小6は、県平均を10ポイント程度上回っています。中1が若干、県平均を下回りました。一人一人に活躍する場を与え、自信をもたせることで、児童生徒の自己肯定感を高めてほしいと思います。

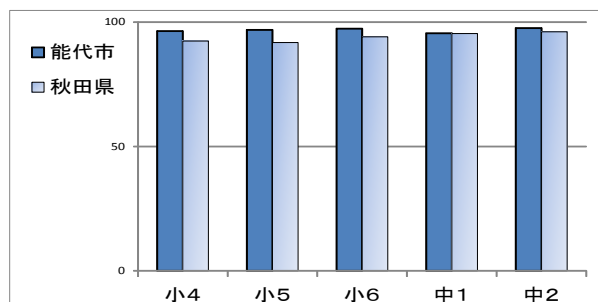
## 6 将来の夢や目標をもっている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。小・中の接続や進路指導など各校で丁寧に行っていることの成果が表れています。今後もキャリアノートを計画的に活用するなどして、子どもたち一人一人のキャリア発達の支援をお願いします。

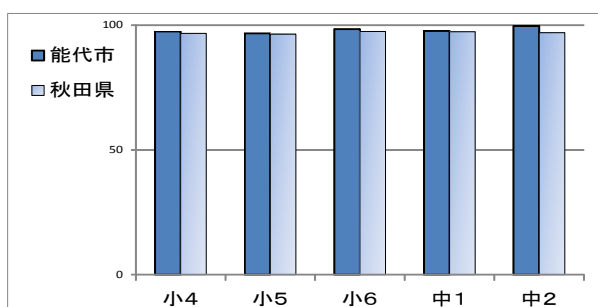
## 7 学校のきまりを守っている



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。また、どの学年も95%以上の高い数値になっています。今後も、きまりを守ることの大切さについて意図的に取り上げ、児童生徒の規範意識を育てていくことが大切です。

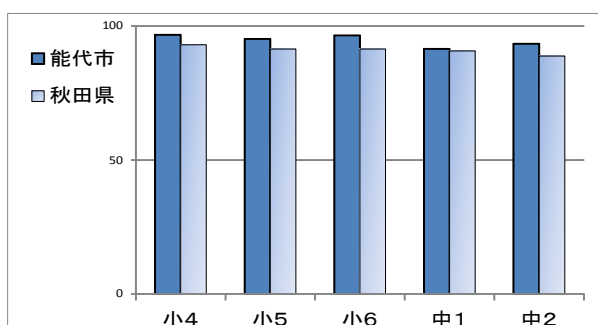
## 8 人の役に立つ人間になりたいと思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で95%以上の高い数値になっています。今後も、互いの立場や考えを尊重し合い、社会の一員として他者と協働し、社会に貢献しようとする児童生徒の育成を目指し、教育活動全体を通じた取組をお願いします。

## 9 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

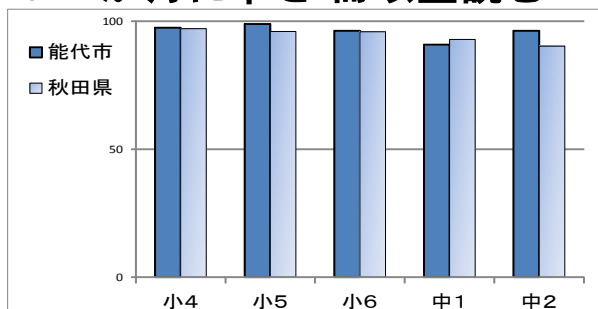


「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で県平均を上回っています。また、どの学年も90%以上の高い数値になっています。

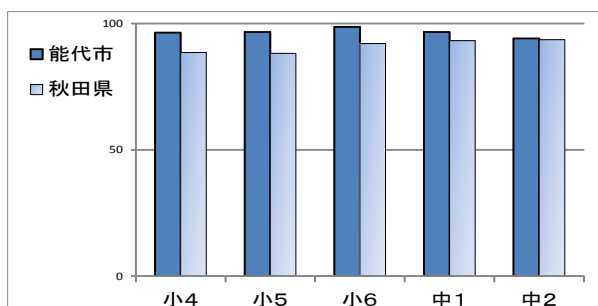
今後も「地域のために何ができるか」という郷土に対する意識を高めてほしいと思います。

## 10 1か月に本を1冊以上読む



今年度も中1がわずかに県平均を下回りました。中2は、中1のときに下回っていたものの今年度は回復しました。各校の図書室の環境が整えられてきています。今後も効果的、計画的に、図書室や図書室の本を活用できるような取組をお願いします。

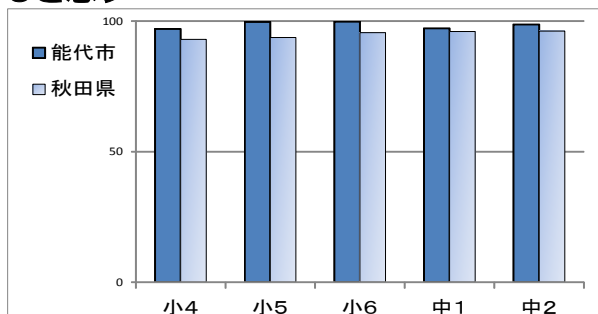
## 11 ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、90%以上の児童生徒が、授業中に発表する機会を与えられていることを実感しています。活躍の場を与えて児童生徒の自己有用感を育むことで、自己肯定感も高くなっていくことが考えられます。

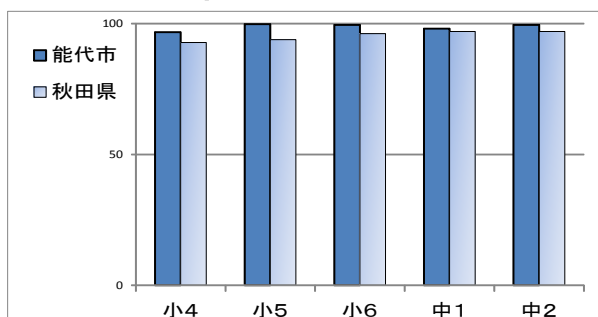
## 12 ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、95%以上の児童生徒が、話し合いのよさを実感しています。ペア活動やグループ活動、全体の場での様々な学習形態等を工夫して、主体的・対話的な授業づくりに努めている成果が数値に表れています。

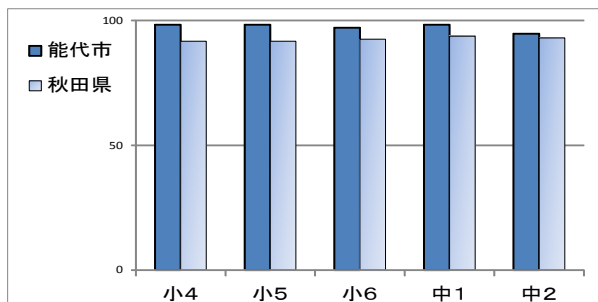
## 13 ふだんの授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年で95%以上の高い数値になっています。児童生徒の言葉を引き出して学習課題をつくらせている授業が多く見られ、先生方が児童生徒に必要感をもたせて授業に臨ませている表れだと感じています。

## 14 ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う



「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合

全ての学年において、90%以上の児童生徒が、振り返りを意識した授業を実感しています。身に付いた知識や技能を確認するとともに、学びの充実感や達成感を味わわせることで、学力向上に結び付けていきます。